

# イベントレポート

## IPA 国際圧入学会設立総会



開催日： 2007年2月  
15日(木) - 16日(金)  
開催地： 英国ケンブリッジ大学  
チャーチルカレッジ モラーセンター  
主催： IPA創設準備委員会  
出席者： 研究者を中心とする招待客26名、  
事務局側の運営スタッフ6名  
プログラム：  
• IPA国際圧入学会設立総会  
• 圧入工学の研究成果発表  
• 第1回IPA研究助成賞式典  
• 受賞者プレゼンテーション  
• ケンブリッジ大学研究施設見学  
• ボルトン教授主催晩餐会

圧入技術は、誕生から既に30年以上の歴史を刻んでいます。さらに数十年後の未来、人々はきっと「あの日が歴史の一大転換点だった」と振り返るでしょう。それは2007年2月、暦の割に暖かい小春日和の候、800年の歴史を誇る英国ケンブリッジ大学にて、正式に国際圧入学会 (IPA) の設立が成し遂げられたのです。この歴史的な瞬間を共に喜び合えたのは、IPA設立趣意に賛同し、万難を排して現地に集結してくれた総勢32名の有志達です。志を同じくしつつも参加できなかった多くの理解者、協力者達にも支えられ、圧入工学の名を掲げた旗艦は、実証科学アプローチという大海原に向け力強く出航する事ができました。設立総会では学会の舵を取る役員が選出され、定款や組織などが手際よく決定されました。その中でも特に晴れやかな舞台となったのが、第1回IPA研究助成賞式典です。公募した研究提案の中から、優秀な10組が選ばれ、総額10万USD(1250万円)の助成金が授与されました。受賞者らは1年間の研究期間を経て、その成果を2008年9月米国ニューオリンズで開催する第1回IPA国際研究発表会で披露する予定です。

### IPA国際圧入学会設立総会の開催



モラーセンター



ボルトン教授(ケンブリッジ大学)による司会進行



北村社長(株式会社 技研製作所)によるIPAの設立趣意説明



レセプションにて参加者と懇談



岡村学長(高知工科大学)による開会挨拶

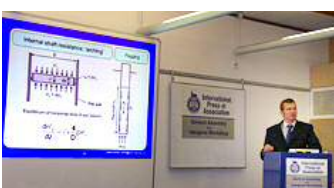


設立総会の本会議風景



圧入技術のパネル展示

### » 圧入工学の研究成果発表



デイヴィッド・ホワイト博士  
「圧入杭の挙動に関する最新の研究」



呉 徳林(ゴ-テイクリム)博士  
「圧入工学の最新技術と施工事例」



多賀谷 宏三 名誉教授  
「圧入工法の発展方法と研究体系」



» 第1回IPA研究助成賞式典 (授与式と受賞研究提案のプレゼンテーション)



ケンブリッジ大学研究施設見学 (スコフィールド遠心载荷センター他)



ポルトン教授主催晩餐会 (セントジョンズ・カレッジ、ワーズワースルーム)



IPA会長に就任したポルトン教授は、伝統あるセントジョンズ・カレッジに全出席者を招待され、歓迎の晩餐会を催されました。その席で、「ケンブリッジ大学でのIPA設立総会を記念し北村社長に贈る」と刻まれた銀のプレートを、学会創設の発起人である北村名誉会長に贈呈されました。また、北村名誉会長からも、学会設立と総会成功へのお礼として、10日間宇宙旅行をした酵母で醸造された「土佐宇宙酒」がポルトン会長に贈呈されました。

一堂に会した匠入工学のリーダー達 (モラーセンター前にて)

